

# 福島県立図書館

## 第1節 概要

### 1 運営の重点

県民の生涯学習センターとして多様な資料の利用に応えるため、資料を積極的に収集するとともに、県内公共図書館、公民館図書室等と協力提携し、館内外において有効適切な奉仕活動を展開して、県民文化の発展に寄与するようつとめた。

#### (1) 資料の整備

基本図書、参考図書、郷土資料等の充実をはかるため、各分野に亘って計画的に収集整備を行った。

#### (2) 調査相談業務の充実

社会科学、自然科学、新聞雑誌等の各分野毎の情報を整備し、県民の利用に供するとともに、図書館間の資料相互利用を活発に行った。

#### (3) 移動図書館の運行

町村読書施設との連携を密にし巡回経路、利用状況を考慮して、公民館、団体等に貸出し、町村の読書活動を援助した。

#### (4) 親子読書文庫

地域のボランティアによる文庫活動もようやく拡大し、31文庫中、22文庫が地域の母親の手によって運用されるようになった。

#### (5) 読書普及活動の推進と職員の研修

市町村読書施設への一括貸出も2年目となり、19市町村へ17,786冊を貸出した。図書館大会をはじめ、分野、対象別に各種の研修会を開催して職員の資質の向上をはかった。

### 2 図書館協議会

6月15日新たに次の方々を選任され、4回開催された。

#### (1) 委員

遠藤 正二	福島県議会議員
小林 忠道	福島商工会議所専務理事
光野タチ子	福島県婦人団体連合会常任理事
高橋 雄亮	NHK福島放送局長
高山 聡	福島県信用保証協会専務理事
・武田 守	福島市中央公民館長
下山 政一	福島市立瀬上小学校長 56.10.16就任
平山 正秋	福島県立福島女子高等学校長
辺見 正治	福島県社会教育委員
堀口 知明	福島大学教育学部教授
境 保貞	福島市立第一小学校長 56.10.16辞任

#### (2) 協議会の開催

第1回 昭和56年7月13日

- ・ 図書館協議会の設置について
- ・ 図書館の組織・機構について
- ・ 昭和56年度運営方針と事業計画について
- ・ 昭和56年度予算の概要について

- ・ 新館建設計画の経過について

第2回 昭和56年12月17日

- ・ 昭和57年度当初予算要求概要について
- ・ 新館建設の計画について
- ・ 寄贈資料の受入について
- ・ 「昭和56年度福島県公共図書館・公民館図書室の概況」について

第3～4回 昭和57年2月18～19日

- ・ 昭和57年度当初予算内示額について
- ・ 昭和56年度事業実施状況について
- ・ 郡山分館移転に伴う旧館（財産）の用途廃止について
- ・ 新館備品等の配置計画について

## 第2節 整理事務

### 1 図書館資料の収集

#### (1) 一般資料の収集

県立図書館は、資料保存センター、調査相談センターといわれており、基本図書、参考図書等の充実をはからなければならないのはいうまでもない。本年度は、基本図書の収集に力をいれ、なかでも、「全集」「叢書」等の収集に意を用いた。その主なものとして「戦国合戦絵屏風集成」「新編林子平全集」「江馬務著作集」「水谷不倒著作集」等がある。

また、昭和56年は「国際障害者年」ということもあって、弱視者用の大型活字本が刊行されたのを機会に収集するとともに、障害児教育関係の図書も多数収集した。研究資料としては、水野仙子、高村智恵子等の県人も関係した「元始女性は太陽であった」で有名な「青踏」の複製版、美術書では、アンドリュウ・ワイエスの画集、「ワイエス」、「Two words of Andrew Wyeth Thomas Hoving」等を収集した。寄贈図書のなかには、「ザ・ベストテン」のようにテレビで話題となった図書とか、「国典類抄」のように貴重なものもある。

受入れ状況は（表1）のとおりである。

〔表1〕 資料の受入れ整理状況

区 分	購 入	寄 贈	編 入	管理換	計
一般図書（館内）	3,410	2,318	182		5,910
	（館外）	3,705	1,254		4,959
児童図書（館内）	1,026	907			1,933
	（館外）	3,384	1,319		4,703
計（館内）	4,436	3,225	182		7,843
	（館外）	7,089	2,573		9,662
合 計	11,525	5,798	182		17,505